

News Release



株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

23-D-0941

2023年10月20日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

大豊建設株式会社（証券コード：1822）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+
国内CP格付	J-2

■格付事由

- (1) 中堅ゼネコン。ニューマチックケーソン工法、シールド工法、ドルフィンドック工法といった土木関連技術に強みがある。23/3期のセグメント別売上高構成比は土木49.0%、建築48.6%、その他2.4%であり、土木・建築の両事業のバランスが良い。海外ではタイ、マダガスカル、台湾などで事業を展開する。現在、株式会社麻生の連結子会社（23年3月末の株式所有割合：50.1%）になっているが、経営の独立性・自主性が維持されていると考えられることから、格付は当社単独の信用力に基づいている。
- (2) 足元の利益水準は低下している。これは競争環境が厳しい時期に受注した工事や資材費などの上昇が影響したものである。一方、資材費などの価格転嫁交渉や採算重視の受注を進めており、工事採算性は徐々に改善していく見通しである。こうした取り組みにより、中期的に緩やかな増益が見込まれる。また、実質無借金を継続するなど財務構成は健全である。中期経営計画（24/3期～28/3期）における投資方針や配当性向を考慮しても、健全な財務構成は維持可能とみられる。以上から、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 24/3期の営業利益は58億円（前期比14.5%増）の計画であり、3期振りに増益となる見通しである。豊富な手持工事の進行による完工高の増加に加え、前期に計上した工事損失引当金の影響がなくなることがその背景にある。25/3期は安定した利益となる見通しである。採算重視の受注により完工高に占める低採算工事の割合が徐々に低下していくとみられ、工事採算性の改善が進む見込みである。
- (4) 23/3期末の自己資本比率は42.3%（前期末：43.3%）、自己資本は719億円（同：733億円）と、おおむね横ばいで推移している。中計期間中の配当性向は24/3期が70%以上、25/3期～28/3期が50%以上としており、従来と比べて社外流出が多い状況が続く。ただし、当面の利益見通しを踏まえると自己資本は緩やかながらも増加するとみられ、配当性向の高さが財務構成に与える影響は軽微と考えられる。

（担当）大塚 浩芳・下田 泰弘

■格付対象

発行体：大豊建設株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保転換社債型新株予約権付社債(転換価額下方修正条項及び期中償還請求権並びに転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付)	80億円	2020年8月26日	2025年8月26日	利息を付さない	BBB+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	70億円	J-2

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年10月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「総合建設」（2012年3月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 大豊建設株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると暗示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他の責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関するものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル